

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2010-22433

(P2010-22433A)

(43) 公開日 平成22年2月4日(2010.2.4)

(51) Int.Cl.

A63F 7/02 (2006.01)

F I

A63F 7/02 304D

テーマコード (参考)

2C088

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願2008-184140 (P2008-184140)
 (22) 出願日 平成20年7月15日 (2008.7.15)

(71) 出願人 000161806
 京楽産業、株式会社
 愛知県名古屋市中区錦三丁目24番4号
 (74) 代理人 100085660
 弁理士 鈴木 均
 (72) 発明者 鈴木 康剛
 愛知県名古屋市中区錦三丁目24番4号
 京楽産業、株式会社
 内
 Fターム(参考) 2C088 AA17 AA35 AA36 AA42 BC25
 DA07 EA10 EB15 EB28 EB56
 EB58

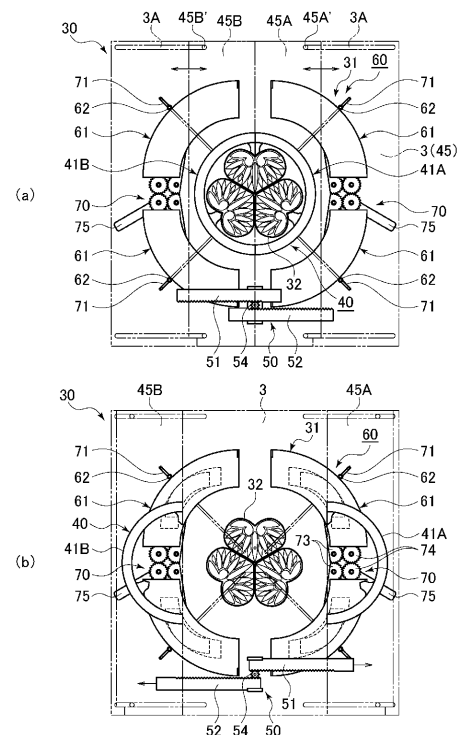
(54) 【発明の名称】 装飾体ユニット、遊技盤、及びパチンコ遊技機

(57) 【要約】

【課題】可動盤面部品を、単純動作する本体部分と、本体部分に付設されて本体部分の動作変化に応じて出沒、開閉動作することにより可動盤面部品の全体形状に大きな変化を与える開閉部材と、から構成した装飾体ユニット、遊技盤、及びパチンコ遊技機を提供する。

【解決手段】遊技盤面に沿って配置された装飾体を備えた装飾体ユニット30であって、前記装飾体は、遊技盤面に配置された主装飾部材32と、該主装飾部材の外径方向に配置された少なくとも一つの可動装飾部材40、60と、を備え、可動装飾部材は、少なくとも2つの分割可動装飾片を備え、各分割可動装飾片は主装飾部材の外径方向へ退避した離間位置と、該離間位置から内径側に移動して該主装飾部材に近接した近接位置との間を進退自在に構成されている。

【選択図】 図4



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

遊技盤面に沿って配置された装飾体を備えた装飾体ユニットであって、

前記装飾体は、前記遊技盤面に配置された主装飾部材と、該主装飾部材の外径方向に配置された少なくとも一つの可動装飾部材と、を備え、

前記可動装飾部材は、少なくとも 2 つの分割可動装飾片を備え、各分割可動装飾片は前記主装飾部材の外径方向へ退避した離間位置と、該離間位置から内径側に移動して該主装飾部材に近接した近接位置との間を進退自在に構成されていることを特徴とする装飾体ユニット。

【請求項 2】

10

前記各分割可動装飾片は、前記離間位置にあるときには前記遊技盤上の可視領域から退避しており、前記近接位置にあるときには該可視領域内に進入することを特徴とする請求項 1 に記載の装飾体ユニット。

【請求項 3】

前記可動装飾部材は、前記主装飾部材を間に挟んで内外径方向へ進退自在に支持された 2 つの第 1 分割可動装飾片と、該各第 1 分割可動装飾片を進退させる駆動機構と、該第 1 分割可動装飾片及び該駆動機構を支持する支持部材と、から成り、

前記駆動機構は、一方の第 1 分割可動装飾片に固定された第 1 のラックギヤと、他方の第 1 分割可動装飾片に固定されて前記第 1 のラックギヤと平行に配置された第 2 のラックギヤと、前記第 1 及び第 2 のラックギヤ間に位置固定で配置されたピニオンギヤと、から構成されていることを特徴とする請求項 1、又は 2 に記載の装飾体ユニット。

20

【請求項 4】

前記可動装飾部材は、前記主装飾部材を間に挟んで内外径方向へ進退自在に支持された 3 つ以上の第 2 分割可動装飾片と、該各第 2 分割可動装飾片を進退させる駆動機構と、該第 2 分割可動装飾片及び該駆動機構を支持する支持部材と、から成り、

前記駆動機構は、各第 2 分割可動装飾片から突出したピンを嵌合して内外径方向へガイドするために前記支持部材に形成されたガイドスリットと、該ピンに遊嵌する長穴を一端部に有したリンク片と、該リンク片の他端部を回動自在に軸支するために前記支持部材に設けた軸支部と、該リンク片の該軸支部側に一体化されたギヤ部材と、駆動源により回転駆動され該ギヤ部材と噛合する駆動ギヤと、を備えていることを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか一項に記載の装飾体ユニット。

30

【請求項 5】

前記第 2 分割可動装飾片は、互いに相対動作可能、且つ分離不能な状態で係合し合った複数個の可動装飾小片から成り、前記各可動装飾小片から夫々突設したピンを前記ガイドスリット内に嵌合し、

一つの前記可動装飾小片を前記リンク片の長穴に遊嵌し、該一つの前記可動装飾小片の進退動作に他の可動装飾小片を連動させるように構成したことを特徴とする請求項 4 に記載の装飾体ユニット。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 の何れか一項に記載の装飾体ユニットを備えたことを特徴とする遊技盤。

40

【請求項 7】

請求項 6 に記載の遊技盤を備えたことを特徴とするパチンコ遊技機。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、パチンコ遊技機を構成する遊技盤面上において種々動作することによって遊技進行上特徴的な演出効果を発揮するように構成された装飾体を備えた装飾体ユニット、遊技盤、及びパチンコ遊技機に関する。

【背景技術】

50

【 0 0 0 2 】

パチンコ遊技機においては、遊技盤の盤面に入賞口、風車、画像表示装置、電飾装置等の各種盤面部品を設けて遊技内容の多様性を図っている。例えば、遊技の進行中における入賞、その他の状況変化を契機として可動盤面部品（装飾体）を種々の方向に動作させることにより演出効果を高めている。

例えば、遊技盤に設けられた始動入賞口に遊技球が入賞すると、遊技盤中の画像表示装置に表示される図柄が変動を開始し、所定時間経過後に停止した図柄が予め定めた大当たり図柄となった場合に大当たり状態となり、遊技者が大量の出球を獲得できるようになっている。このような遊技機では、遊技の興趣を高めるために様々な表示演出が行われる。例えば、特許文献 1 には、大当たりになると画像表示装置の表示内容に連動して役物を左右に動作させる構成が開示されている。また、特許文献 2 には、図柄が所定の組合せになると、役物を遊技盤の前後方向に移動させる構成が開示されている。

【特許文献 1】特開 2 0 0 4 - 1 9 5 0 8 4 公報

【特許文献 2】特開平 0 6 - 0 0 7 5 0 9 号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【 0 0 0 3 】

以上のように従来可動盤面部品を進退動作させる機構にあつては、左右方向、或いは前後方向に単純に動作させたり、遊技盤の視認可能領域外にあった盤面部品が視認可能な領域内に出現するという程度の単純な変化に過ぎないため、可動盤面部品の動作量や動作タイミングに変化を付与したとしても変化に乏しい内容となり易く、遊技者に退屈感を与え、興趣を低下させるという問題があった。

本発明は上記に鑑みてなされたものであり、可動盤面部品（装飾体）を、単純動作する本体部分と、本体部分に付設されて本体部分の動作変化に応じて出没、開閉動作することにより可動盤面部品の全体形状に大きな変化を与える開閉部材と、から構成した装飾体ユニット、遊技盤、及びパチンコ遊技機を提供するものである。

【課題を解決するための手段】

【 0 0 0 4 】

上記目的を達成するため、請求項 1 の発明に係る装飾体ユニットは、遊技盤面に沿って配置された装飾体を備えた装飾体ユニットであつて、前記装飾体は、前記遊技盤面に配置された主装飾部材と、該主装飾部材の外径方向に配置された少なくとも一つの可動装飾部材と、を備え、前記可動装飾部材は、少なくとも 2 つの分割可動装飾片を備え、各分割可動装飾片は前記主装飾部材の外径方向へ退避した離間位置と、該離間位置から内径側に移動して該主装飾部材に近接した近接位置との間を進退自在に構成されていることを特徴とする。

主装飾部材と関連のある形状、絵柄を備えた分割可動装飾片を主装飾部材の外径方向に配置して接近、離間させるように構成したので、主装飾部材単独では得られない形状変化による遊技内容の多様性、意外性を実現し、遊技の興趣を高めることができる。装飾体は、遊技盤面の前方に配置される場合と、遊技盤面に設けた開口内、或いは開口の後方に配置される場合がある。更に、遊技盤がアクリル盤等の透明な材料から構成される場合には、遊技盤面の後方に装飾体が配置される場合もある。

請求項 2 の発明に係る装飾体ユニットは、請求項 1 において、前記各分割可動装飾片は、前記離間位置にあるときには前記遊技盤上の可視領域から退避しており、前記近接位置にあるときには該可視領域内に進入することを特徴とする。

遊技状態が変化した際に視界外にあった分割可動装飾片が視界内に出現して主装飾部材を装飾して全体的な形状を変化させ、面積を増大させるので、遊技者にとって変化に富んだ遊技内容とすることができる。

【 0 0 0 5 】

請求項 3 の発明に係る装飾体ユニットは、請求項 1、又は 2 において、前記可動装飾部材は、前記主装飾部材を間に挟んで内外径方向へ進退自在に支持された 2 つの第 1 分割可

10

20

30

40

50

動装飾片と、該各第 1 分割可動装飾片を進退させる駆動機構と、該第 1 分割可動装飾片及び該駆動機構を支持する支持部材と、から成り、前記駆動機構は、一方の第 1 分割可動装飾片に固定された第 1 のラックギヤと、他方の第 1 分割可動装飾片に固定されて前記第 1 のラックギヤと平行に配置された第 2 のラックギヤと、前記第 1 及び第 2 のラックギヤ間に位置固定で配置されたピニオンギヤと、から構成されていることを特徴とする。

請求項 4 の発明に係る装飾体ユニットは、請求項 1 乃至 3 の何れか一項において、前記可動装飾部材は、前記主装飾部材を間に挟んで内外径方向へ進退自在に支持された 3 つ以上の第 2 分割可動装飾片と、該各第 2 分割可動装飾片を進退させる駆動機構と、該第 2 分割可動装飾片及び該駆動機構を支持する支持部材と、から成り、前記駆動機構は、各第 2 分割可動装飾片から突出したピンを嵌合して内外径方向へガイドするために前記支持部材に形成されたガイドスリットと、該ピンに遊嵌する長穴を一端部に有したリンク片と、該リンク片の他端部を回動自在に軸支するために前記支持部材に設けた軸支部と、該リンク片の該軸支部側に一体化されたギヤ部材と、駆動源により回転駆動され該ギヤ部材と噛合する駆動ギヤと、を備えていることを特徴とする。

10

請求項 5 の発明に係る装飾体ユニットは、請求項 4 において、前記第 2 分割可動装飾片は、互いに相対動作可能、且つ分離不能な状態で係合し合った複数個の可動装飾小片から成り、前記各可動装飾小片から夫々突設したピンを前記ガイドスリット内に嵌合し、一つの前記可動装飾小片を前記リンク片の長穴に遊嵌し、該一つの前記可動装飾小片の進退動作に他の可動装飾小片を連動させるように構成したことを特徴とする。

請求項 6 の発明に係る遊技盤は、請求項 1 乃至 5 の何れか一項に記載の装飾体ユニットを備えたことを特徴とする。

20

請求項 7 の発明に係るパチンコ遊技機は、請求項 6 に記載の遊技盤を備えたことを特徴とする。

【発明の効果】

【0006】

以上のように本発明では、装飾体を、主装飾部材と、主装飾部材の外径方向に配置された少なくとも一つの可動装飾部材と、を備え、可動装飾部材は、少なくとも 2 つの分割可動装飾片を備え、各分割可動装飾片は前記主装飾部材の外径方向へ退避した離間位置と、該離間位置から内径側に移動して該主装飾部材に近接した近接位置との間を進退することにより、装飾体ユニットの全体形状に大きな変化を与えることができるので、遊技内容に著しい変化をもたらし、遊技者が退屈感を抱くことを防止できる。

30

【発明を実施するための最良の形態】

【0007】

以下、本発明を図面に示した実施の形態により詳細に説明する。

図 1 は、本発明の実施形態に係るパチンコ遊技機の一例を示した全体正面図である。

この図に示すパチンコ遊技機 1 は、矩形形状の枠 2 を有し、この枠 2 の窓孔に対して裏側から遊技盤 3 が着脱可能に取り付けられている。

遊技盤 3 の前面側には、図示しないガラス枠が開閉可能に取り付けられている。また遊技盤 3 の下部には遊技球を貯留する受け皿部 4 と、受け皿部 4 内の遊技球を発射する発射レバー 5 等が設けられている。また、受け皿部 4 の上部には遊技機用ボタンスイッチや、遊技球の購入ボタン、購入取り消しボタンが設けられている。

40

遊技盤の裏面には、液晶画面、主制御基板とサブ制御基板等、遊技の進行、演出に関わる裏部品を組み付けた合成樹脂製の機構板（何れも図示せず）が開閉自在に装着されている。遊技盤 3 における遊技領域 3 a の周囲には、発射レバー 5 を操作することにより発射装置から発射された遊技球を遊技領域 3 a の上部に案内したり、アウト口 1 5 に案内する外レール R 1、及び内レール R 2 が設けられている。

遊技盤 3 のほぼ中央部には開口部 6 が設けられ、開口部 6 の内部には画像表示装置 7 が配置されている。画像表示装置 7 は、例えば、液晶表示装置等の液晶表示パネルによって構成され、通常動作状態の時は、図示しない特別図柄画像が表示される。また、いわゆる特別遊技状態の時は、特別遊技状態であることを示す演出画像等が表示される。

50

【 0 0 0 8 】

開口部 6 の下方には、画像表示装置 7 の特別図柄を可変表示させるための可変入賞装置 8 が設けられている。

開口部 6 の左右両側には夫々遊技盤 3 の盤面上を流下する遊技球を受けるステージ部 9 が設けられている。ステージ部 9 に案内された遊技球のうち、ステージ部の所定の入口に入った遊技球は、始動入賞口 1 1 の真上に位置する出口から遊技盤面へと出て始動入賞口 1 1 に入賞し易くなり、残りの遊技球はステージ部 9 上から落下し、多くの場合始動入賞口 1 1 に入賞しない。

また、開口部 6 の左側には、遊技盤の右下部に配置された図示しない普通画像表示装置に表示される普通図柄を作動させるためのゲート 1 3 が設けられている。さらに可変入賞装置 8 の下方には、特別遊技状態の一つである大当たり状態のときに開成状態になる開閉扉を有する大入賞口 1 4 が設けられている。

遊技盤 3 には図示しない普通入賞口やアウト口 1 5 等が設けられていると共に、風車や図示しない多数の遊技釘が突設されている。遊技釘は、遊技球の落下速度を遅くすると共に、落下方向を複雑に変化させて遊技進行上の興味を高めている。

【 0 0 0 9 】

普通図柄表示装置に表示される普通図柄は、1 個または複数個の図柄を変動表示可能であり、普通図柄始動口としてのゲート 1 3 が遊技球を検出することを条件に、その図柄が乱数制御等により所定時間可変して停止するようになっている。

普通図柄としては、数字図柄、アルファベット図柄、キャラクター図柄、その他の適宜の遊技図柄が使用される。そして、ゲート 1 3 を遊技球が通過したことを条件に乱数制御により普通図柄が所定態様となった場合に、可変入賞装置 8 に設けられた電動式チューリップから成る可動片を所定時間、開成動作するように構成されている。

画像表示装置 7 に表示される特別図柄は、停止図柄が予め定められた図柄の組合せ、例えば同一図柄の組合せとなった場合に大当たり状態となるように構成されている。また特別図柄は可変入賞装置 8 の始動入賞口、又は電動式チューリップの開成動作により遊技球が誘導される下始動口（図示していない）において遊技球を検出することを条件に乱数制御等により表示がスクロールする等、所定の変動パターンで所定時間変動（可変）して図柄で停止するようになっている。その際、有効ライン上に 2 個の停止図柄が同一となった場合に、リーチ状態が発生し、このリーチ状態において、有効ライン上の最後の停止図柄が既に停止している 2 個の図柄と同一となった場合に大当たり状態が発生する。なお、特別図柄としては、数字図柄、アルファベット図柄、キャラクター図柄等が使用可能である。

画像表示装置 7 の上方には、可動役物 2 0 と、本発明に係る装飾体ユニット 3 0 が配置されている。

可動役物 2 0 は、「水戸黄門」という文字を象った部材からなり、また、装飾体ユニット 3 0 は、三つ葉葵の紋章を象った正面視円盤状の構成を有している。

【 0 0 1 0 】

図 2 (a) 及び (b) は可動役物が閉止した状態、及び開放した状態を夫々示す正面図である。可動役物 2 0 は、遊技盤 3 の左右方向（幅方向）に往復移動可能であり、互いに接近、離間する左右一対の開閉部材 2 1、2 2 からなる。左側の開閉部材 2 1 は「水戸」の文字部材からなり、右側の開閉部材 2 2 は「黄門」の文字部材からなる。可動役物 2 0 は、非作動時（全閉時）には、図 2 (a) に示すように、一対の開閉部材 2 1、2 2 が接近した状態となり、また、作動時（全開時）には、図 2 (b) に示すように、一対の開閉部材 2 1、2 2 が離間した状態となる。また、一対の開閉部材 2 1、2 2 は、単に全開状態と全閉状態の 2 つの態様をとるのみでなく、小刻みに開方向への移動と閉方向への移動を交互に繰り返す動作をとる場合もある。

【 0 0 1 1 】

図 3 (a) 及び (b) は本発明の一実施形態に係る装飾体ユニットの全体構成を示す斜視透視図、及び装飾体ユニットの側面図であり、図 4 (a) 及び (b) は本発明の一実施

形態に係る装飾体ユニットの構成及び動作説明図であり、図 5 は駆動機構の説明図である。

装飾体ユニット 30 は、遊技盤 3 の盤面に沿って配置された装飾体 31 と、駆動機構 50、70 と、を備えている。装飾体 31 は、遊技盤面の前方に配置される場合と、遊技盤面に設けた開口内、或いは開口の後方に配置される場合がある。更に、遊技盤がアクリル盤等の透明な材料から構成される場合には、遊技盤面の後方に装飾体 31 が配置される場合もある。

装飾体 31 は、遊技盤面 3 上に配置されて正面に三つ葉葵の紋章を象った主装飾部材 32 と、主装飾部材 32 の外径方向に配置された少なくとも一つ、本例では第 1 及び第 2 の可動装飾部材 40、60 と、を備えている。

第 1 の可動装飾部材 40 は、少なくとも 2 つの分割可動装飾片（第 1 分割可動装飾片）41A、41B、及びこれらを駆動する第 1 の駆動機構 50 を含み、各分割可動装飾片 41A、41B は主装飾部材 32 の外径方向へ退避した離間位置（図 4（b））と、該離間位置から内径側に移動して主装飾部材 32 に近接した近接位置（図 4（a））との間を左右方向へ進退自在に構成されている。

【0012】

各分割可動装飾片（第 1 分割可動装飾片）41A、41B は、例えば図 4（b）に示した離間位置にあるときには遊技盤 3 上の可視領域から退避しており、近接位置にあるときには該可視領域内に進入するように構成する。遊技者の視界外にあった分割可動装飾片が視界内に出現して主装飾部材を装飾して全体的な形状を変化させ、面積を増大させるので、遊技者にとって変化に富んだ遊技内容とすることができる。

第 1 の可動装飾部材 40 は、分割可動装飾片 41A、41B 及び第 1 の駆動機構 50 を支持する支持部材 45A、45B（縦長長方形の部材）を含む。支持部材 45A、45B は夫々から突設したピン 45A'、45B' を遊技盤 3 に設けたスリット 3A、3A' に嵌合させることにより、左右方向へ開閉自在に支持されており、図 4（a）は閉止位置、（b）は開放位置を示している。一方の分割可動装飾片 41A は一方の支持部材 45A と一体化され、他方の分割可動装飾片 41B は他方の支持部材 45B と一体化されている。本例では、最前面に位置する遊技盤 3 の背面側に各支持部材 45A、45B が開閉自在に支持されており、遊技盤 3 に設けた透明部を通して装飾体 31 の主要部が前方から視認可能となっている。

なお、遊技盤 3 はアクリル等の透明樹脂から構成してもよいし、ベニヤ板からなる遊技盤の一部を透明材料にて構成したものであってもよい。

【0013】

第 1 の駆動機構 50 は、支持部材 45A を介して一方の分割可動装飾片 41A に固定された第 1 のラックギヤ 51 と、他方の分割可動装飾片 41B に固定されて第 1 のラックギヤ 51 と平行に配置された第 2 のラックギヤ 52 と、第 1 及び第 2 のラックギヤ間に相当する遊技盤面に位置固定で回転自在に配置されたピニオンギヤ 54 と、ピニオンギヤ 54 を回転駆動する図示しないモータと、から構成されている（図 5）。

図 4（a）に示したように分割可動装飾片（第 1 分割可動装飾片）41A、41B が閉止位置にあるときに、図示しないモータを駆動してピニオンギヤ 54 を開放方向へ回転させると、図 4（b）に示したように第 1 及び第 2 のラックギヤ 51、52 が互いに離間する外側方向へ移動し、分割可動装飾片 41A、41B を開放させる。ピニオンギヤ 54 を逆方向に回転させると、図 4（a）のように分割可動装飾片 41A、41B は閉止位置に移動する。

【0014】

図 6（a）及び（b）は第 2 の可動装飾部材の閉止状態、及び開放状態を示す正面図であり、図 7（a）及び（b）は第 2 の可動装飾部材の閉止状態、及び開放状態を示す背面図であり、図 8（a）（b）及び（c）は第 2 の可動装飾部材及び第 2 の駆動機構の動作説明図であり、図 9（a）（b）及び（c）は第 2 の可動装飾部材の伸縮動作を示す斜視図であり、図 10（a）（b）及び（c）は各可動装飾小片の構成を示す説明図である。

10

20

30

40

50

第2の可動装飾部材60は、主装飾部材32を間に挟んで内外径方向へ進退自在に支持された3つ以上の第2分割可動装飾片（本例では、4つの分割可動装飾片61）と、各分割可動装飾片（第2分割可動装飾片）61を進退させる第2の駆動機構70と、分割可動装飾片61及び第2の駆動機構70を支持する支持部材としての遊技盤3と、から構成されている。各分割可動装飾片61は、同等の構成を備えている。

第2の駆動機構70は、各分割可動装飾片（第2分割可動装飾片）61から突出したピン62を嵌合して内外径方向へガイドするために遊技盤（支持部材）3に形成された4本のガイドスリット71と、各分割可動装飾片61から突設された他のピン63に遊嵌する長穴72aを一端部に有したリンク片72と、リンク片72の他端部を回動自在に軸支するために遊技盤3に設けた軸支部72bと、リンク片72の軸支部72b側に一体化されたギヤ部材73と、図示しない駆動源（モータ）により回転駆動されギヤ部材73と噛合する駆動ギヤ74と、を備えている。

10

互いに噛合する2つの駆動ギヤ74のうちの一方をモータにより回転駆動することによりこれらと噛合した各ギヤ部材73が回動し、各ギヤ部材73と一体化されたリンク片72は軸支部72bを中心として揺動する。各リンク片72の長穴72aに嵌合したピン63は、各分割可動装飾片61を構成する可動装飾小片61A、61B、61Cの一つ（本例では、61A）に固定されており、リンク片72の揺動により各可動装飾小片を伸縮動作させることができる。

【0015】

本例では、駆動ギヤ74から一体的に延びるアーム75を図示しないモータ、或いはソレノイドにより上下方向に回動させることにより、駆動ギヤ74を回動させる。

20

各分割可動装飾片（第2分割可動装飾片）61は、互いに相対動作可能、且つ分離不能な状態で係合し合った複数個の可動装飾小片61A、61B、61Cから成り、各可動装飾小片61A、61B、61Cから夫々突設したピン62をガイドスリット71内に嵌合し、最内径側に位置する可動装飾小片61Aから突設した他のピン63をリンク片72の長穴72aに遊嵌し、最内径側の可動装飾小片61Aの進退動作に他の可動装飾小片61A、61B、61Cを連動させるように構成している。可動装飾小片61A、61B、61Cは、図8(a)、図9(a)に示した展開状態から、図8(b)、図9(b)の中間形態を経て、図8(c)、図9(c)に示した収縮状態に移行する。

可動装飾小片61A、61B、61Cは、夫々から突設したピン62によってガイドスリット71に嵌合しているため、夫々ガイドスリット71に沿って対角線方向へ進退する一方で、各可動装飾小片61A、61B、61Cの端縁に設けた各凸壁64同志を係合させることにより、リンク片72によって直接駆動される可動装飾小片61Aの進退動作に連動して他の可動装飾小片61B、61Cが内外径方向へ進退するように構成されている。

30

【0016】

図6(a)に示したように分割可動装飾片61が展開状態にあるときには、第2の駆動機構70は図8(a)に示した状態にあり、各可動装飾小片61A、61B、61Cは展開した状態となる。図8(a)の展開状態にある駆動ギヤ74を矢印で示す方向へ回動させると、ギヤ部材73と一体のリンク片72が軸支部72bを中心として時計回り方向へ揺動し、ピン63を介して可動装飾小片61Aを外径方向へ移動させる。可動装飾小片61Aが外径方向へ移動する過程で、可動装飾小片61Aに設けた凸壁64が可動装飾小片61Bに設けた凸壁64と当接するため、可動装飾小片61Bが外径方向へ押圧され、更に可動装飾小片61Bに設けた凸壁64が可動装飾小片61Cに設けた凸壁64と当接するため、可動装飾小片61Cが外径方向へ押圧されて、図8(b)の状態を経て(c)の収縮状態に移行する。

40

図8(c)の収縮状態にある可動装飾小片を(a)の展開状態に移行させる場合には上記と逆の手順により展開への動作が行われる。

【0017】

以上のように本発明では、装飾体を、主装飾部材と、主装飾部材の外径方向に配置され

50

た少なくとも一つの可動装飾部材と、を備え、可動装飾部材は、少なくとも２つの分割可動装飾片を備え、各分割可動装飾片は前記主装飾部材の外径方向へ退避した離間位置と、該離間位置から内径側に移動して該主装飾部材に近接した近接位置との間を進退することにより、装飾体ユニットの全体形状に大きな変化を与えることができるので、遊技内容に著しい変化をもたらし、遊技者が退屈感を抱くことを防止できる。

なお、パチンコ遊技機の他の詳細な構成については図示説明していないが、本願発明の技術的範囲中にパチンコ遊技機、及び遊技盤が含まれることに疑いがない。

【図面の簡単な説明】

【００１８】

【図１】本発明の実施形態に係るパチンコ遊技機の一例を示した全体正面図である。

10

【図２】（ａ）及び（ｂ）は可動役物が閉止した状態、及び開放した状態を夫々示す正面図である。

【図３】（ａ）及び（ｂ）は本発明の一実施形態に係る装飾体ユニットの全体構成を示す斜視透視図、及び装飾体ユニットの側面図である。

【図４】（ａ）及び（ｂ）は本発明の一実施形態に係る装飾体ユニットの構成及び動作説明図である。

【図５】本発明の第１の駆動機構の説明図である。

【図６】（ａ）及び（ｂ）は第２の可動装飾部材の閉止状態、及び開放状態を示す正面図である。

【図７】（ａ）及び（ｂ）は第２の可動装飾部材の閉止状態、及び開放状態を示す背面図である。

20

【図８】（ａ）（ｂ）及び（ｃ）は第２の可動装飾部材及び第２の駆動機構の動作説明図である。

【図９】（ａ）（ｂ）及び（ｃ）は第２の可動装飾部材の伸縮動作を示す斜視図である。

【図１０】（ａ）（ｂ）及び（ｃ）は各可動装飾小片の構成を示す説明図である。

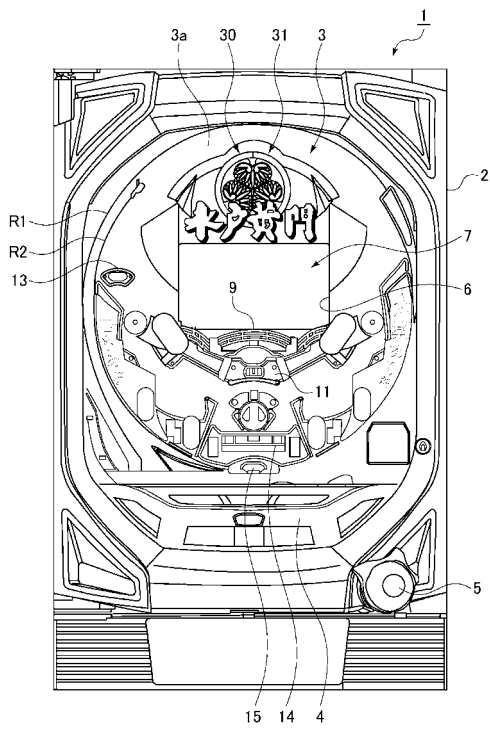
【符号の説明】

【００１９】

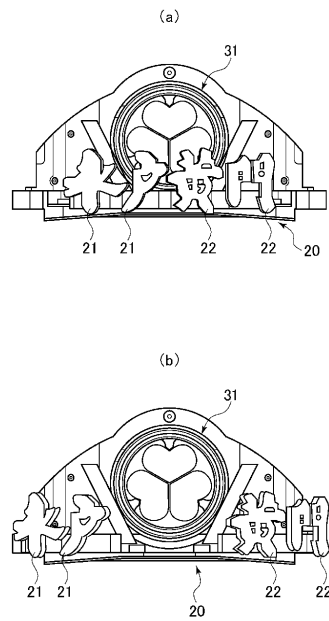
１…パチンコ遊技機、２…枠、３…遊技盤、３Ａ…スリット、３ａ…遊技領域、４…皿部、５…発射レバー、６…開口部、７…画像表示装置、８…可変入賞装置、９…ステージ部、１１…始動入賞口、１３…ゲート、１４…大入賞口、１５…アウト口、２０…可動役物、２１…開閉部材、２２…開閉部材、３０…装飾体ユニット、３１…装飾体、３２…主装飾部材、４０…可動装飾部材、４１Ａ…台１分割可動装飾片、４１Ｂ…第１分割可動装飾片、４５Ａ…支持部材、４５Ａ、４５Ｂ…支持部材、４５Ａ`、４５Ｂ`…ピン、５０…第１の駆動機構、５１…ラックギヤ、５２…ラックギヤ、５４…ピニオンギヤ、６０…可動装飾部材、６１…第２分割可動装飾片、６１Ａ、６１Ｂ、６１Ｃ…可動装飾小片、６２…ピン、６３…ピン、６４…凸壁、７０…第２の駆動機構、７１…ガイドスリット、７２…リンク片、７２ａ…長穴、７２ｂ…軸支部、７３…ギヤ部材、７４…駆動ギヤ、７５…アーム

30

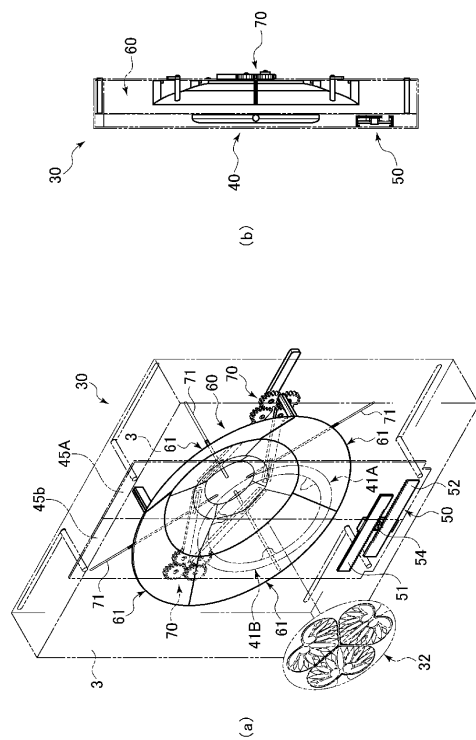
【図 1】



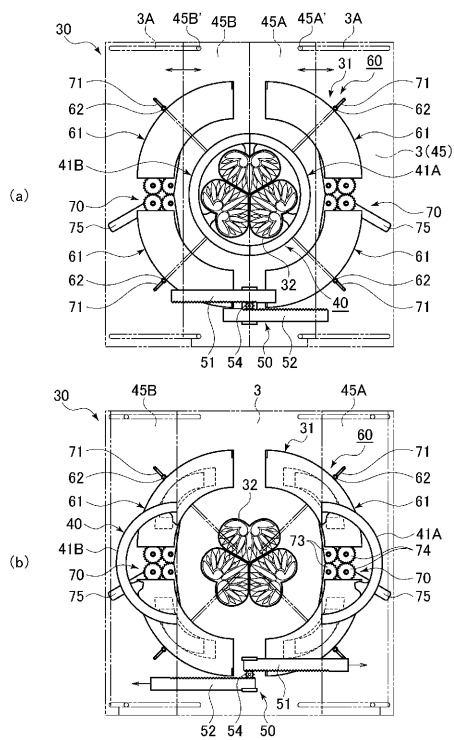
【図 2】



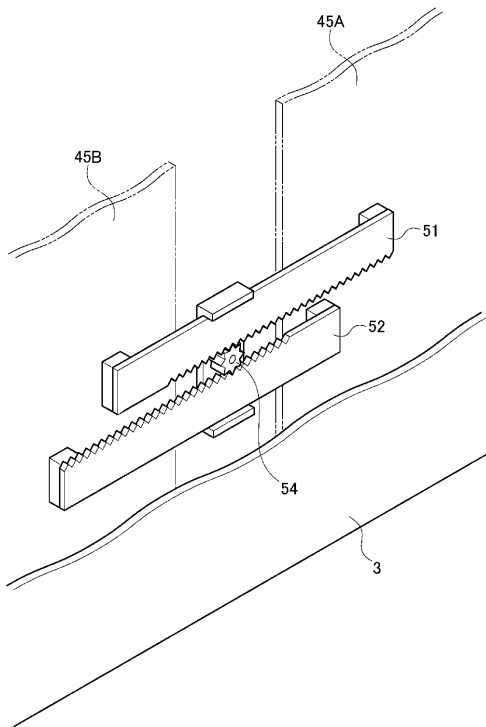
【図 3】



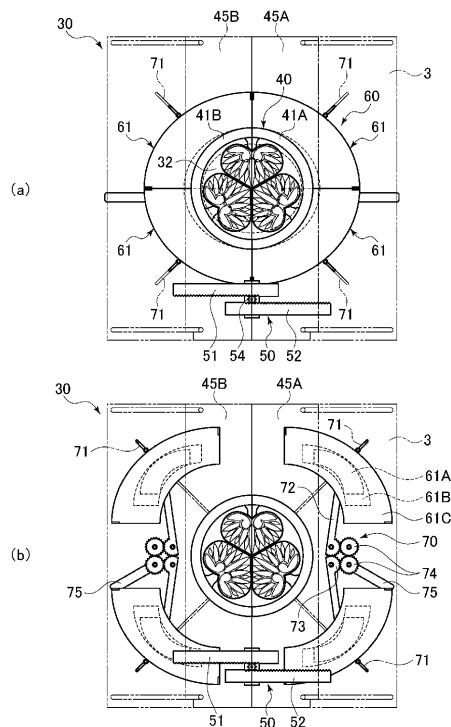
【図 4】



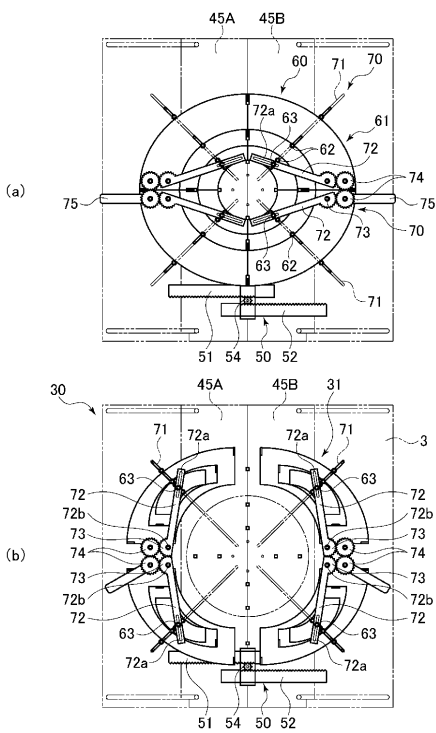
【図 5】



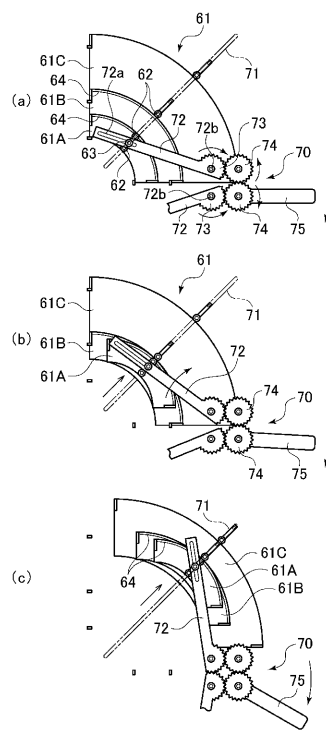
【図 6】



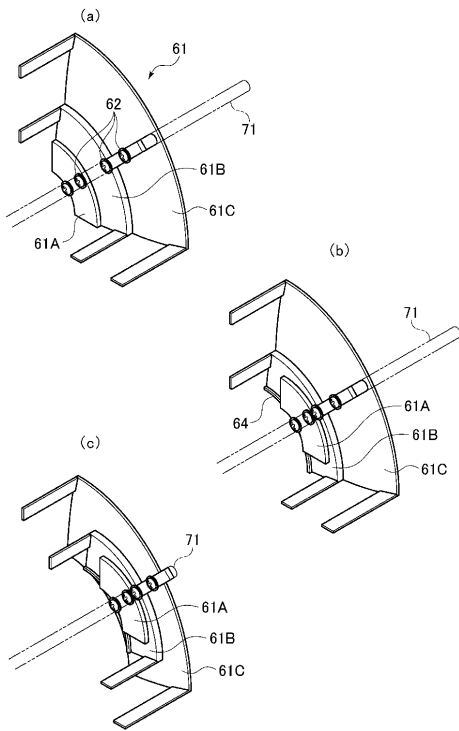
【図 7】



【図 8】



【図 9】



【図 10】

